

学力向上に効果のある取組事例

白杵市立南野津小学校

③主体的に学習に取り組む態度の涵養

取組の具体①

やってみよう！シェアタイム

- 【目的】 主体的に考え 学び合う子どもの育成
～「教えて」と言える仲間づくり みんなが分かるようになる教室～
- ・考えの明確化、ブラッシュアップ
 - ・新しい考え方、解法の発見
 - ・考えが持てるようになる学び方を学ぶ。

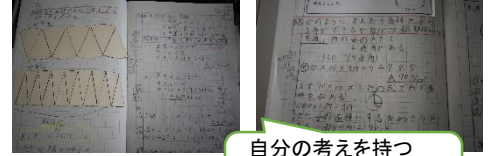
<学習過程> 教師はコーディネーター 必要以上しゃべらない。

- ①つかむ・見直す(問題に出会う 課題見直し)
⇒ ヒントを出しすぎない
- ②考える(一人で課題に立ち向かう)
⇒ 教師はなるべく黙って見守る
- ③シェアタイムA(少数:お互いの考えを説明⇒気づく・伝える・理解する)
⇒ 教師は子どもをつなぐ役・聞き役
- ④シェアタイムB(全体:よりよい考え、よさを共有⇒広げる・深める・まとめる)
⇒ ネームで立場を明確に 本人または理解者が説明
- ⑤まとめ・ふりかえり(自分の言葉でまとめる。練習問題)
⇒ ふりかえりで学びを確認。

<3つの約束>

- 自分がわかるまで聞こう!
- 友だちがわかるまで教えよう! うなずき・ゆびさし
- みんなでゴール!

【考えを整理したノート】



自分の考えを持つ
自分のわからないが
わかる



シェアタイムで
考えを伝える
理解する



【構造的な板書】



取組の具体②

活用しよう！タブレット

- 1年生から1人1台の端末を活用した学びを取り入れ、問題解決のための学習を進めている。
- ・1年生～6年生まで朝タイム(5分)でタイピングの練習をし、キーボードに慣れさせる。
- ・ロイロノートを使って、自分の考えが伝わるよう資料をもとに発表したり、話し合いをしたりする。
- ・社会見学や農泊、修学旅行など課外活動の体験をまとめる。
- ・作文、作品などを取り込みお互いに見合う。
- ・週2回のチャレンジタイムで学年ごとにAIドリルの問題を解き、基礎基本の定着を図る。

タブレットを
使った話し
合い活動



見学先の記録
を取り、まとめ
に活かす



資料の提示、
お互いの意見
を確認

